

牛久シャトー見学

第2学年の総合的な学習の時間では、キャリア教育「これから変動する世の中をどう働いていくのか?」「働くことの意味とは?」を探究課題として学習していきます。その学習の一環として、身近にある日本文化遺産「牛久シャトー」の見学を行いました。当時の牛久シャトーで働く人の様子や実際に使われていた機材、現在働いている人へのインタビューを通して、時代とともに変化するシャトーの様子(労働など)について知識を深めました。

シャトー見学では、普段公開されていない本館(旧事務室)2階を見学しました。大広間に置かれている折り畳み式のベッドやオルガン、調理器具、極めつけは貴賓室のソファに座らせていただくことができました。100年以上前のものでありながら、そのすわり心地の良さに驚かされました。

また、8月に行われる日本文化遺産イベント「ホワイトマルシェ」への協力として、イベントロゴイラストの原案作成を行いました。



庭園の散策



貴賓室のソファー



2階大広間(パーティールーム)



地下醗酵室(真っ暗でした)

【学級訓 ~そこに込めた思い~】

1組「相手を尊重し、互いに高め合えるやさしさであふれたクラス」

- ・自分の意見を押し付けない
- ・互いに注意し合える
- ・間違いや失敗を認め合える

2組「どんな場面に直面しても、臨機応変に行動できるクラス」

- ・正しい状況判断をして、どんな場面に立っても行動できる
- ・どんな高い壁に当たっても、何度も挑戦して乗り越える

3組「Just do it! 互いに敬意をもって接することができる学級」

- ・相手を認め、相手の意見を聴き、互いに思いやる
- ・敬意をもって接することで、よりクラスメートと分かり合える
- ・学級が活発になり、団結できる

4組「1人1人の個性を尊重し、人との関りを大切にするクラス」

- ・クラスのみんなが互いに助け合う
- ・人との関りを大切にする
- ・一人一人がリスペクトしあう

【職場体験学習について】

2年生の夏休みに「職場体験学習」が予定されています。

《ねらい》

- 職場体験学習を通して、社会人としての資質(あいさつや言葉遣い、時間を守ることなど)を養い、人としての在り方生き方を学ぶ。
- 地域社会で自分ができることは何かを考える。
- 学校で学んだことが、社会生活で活かされることを事業所で体験する。
- 異世代間も含めたコミュニケーション能力の向上を図る。
- 地元事業所に対する理解を深め、地元への愛着や誇りをもつ。



新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、体験できる職業は限られてしまいますが、生徒たちの興味や関心のある職業で体験できるように支援していきます。

また、保護者の皆様で、体験をさせていただけるご家庭がありましたら、ご協力をお願いいたします。その際には、職業(職種)、受け入れ人数などを担任までお知らせください。よろしくお願いいたします。